

こうじ  
工事の  
げんば  
現場より

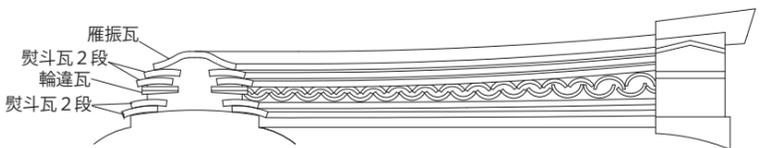
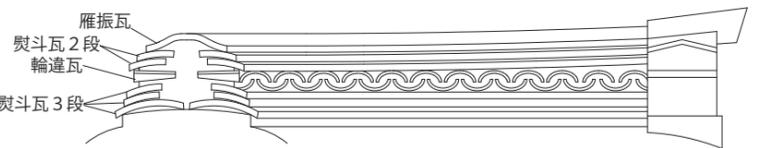
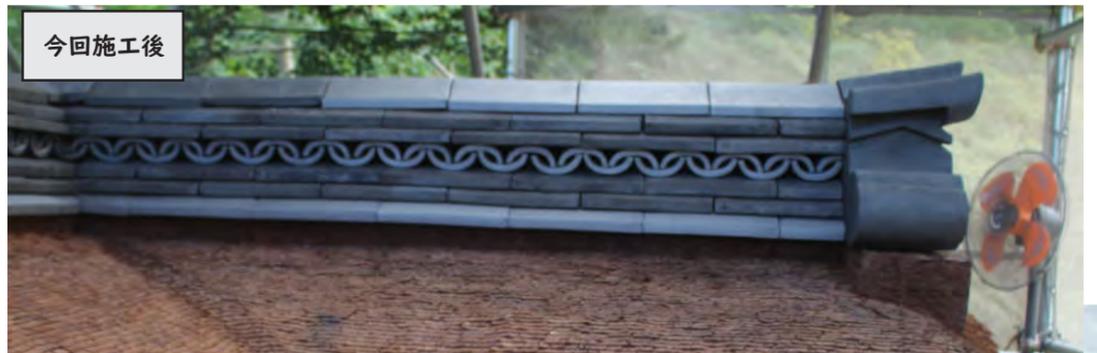
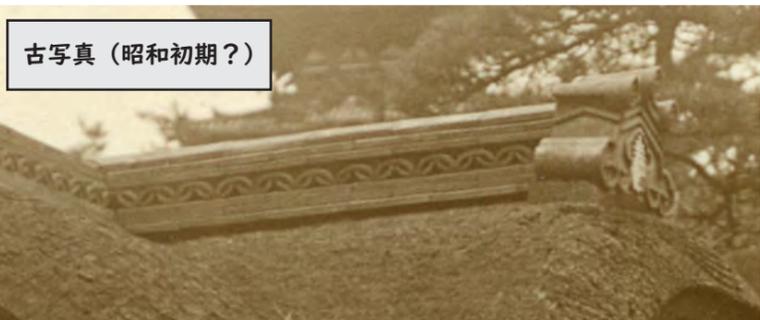
# 亭榭保存修理事業

今はこんな様子だよ。



## 9月2週目

今回の屋根葺替工事では、古写真に基づいた瓦棟の仕様復原が課題の一つでした。本来であれば変更せず古い仕様を継承するのが文化財の維持保存の仕方ですが、亭榭は文化財指定を受けておらず、また構造上瓦棟が非常に傷みやすい状況であったことから、取替が頻繁に行われ、元の仕様が保持されていなかったと推定されます。今回は幸い鮮明な古写真を参考にできたことから、無事に大正時代の創建当時同様の屋根を蘇らせることができました。



▲瓦を葺く際には「南蛮漆喰」を糊代わりかつ空隙を埋める素材として使いました。南蛮漆喰は最初は粘土状で柔らかいですが、時間が経ち乾くと硬くなります。乾燥するまでは楔などを入れて、支えて形を保ち整えます。

▲瓦は可能な限り古いものを再利用しましたが、割れや傷みが著しい場合は新しい瓦に改めました。古瓦の利用場所、配置・割付など丁寧に調整しながら並べています。